スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

長崎県諫早市

自 治 体 名 ： 長崎県諫早市
担 当 課 名 ： 教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： 0957-22-1500

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

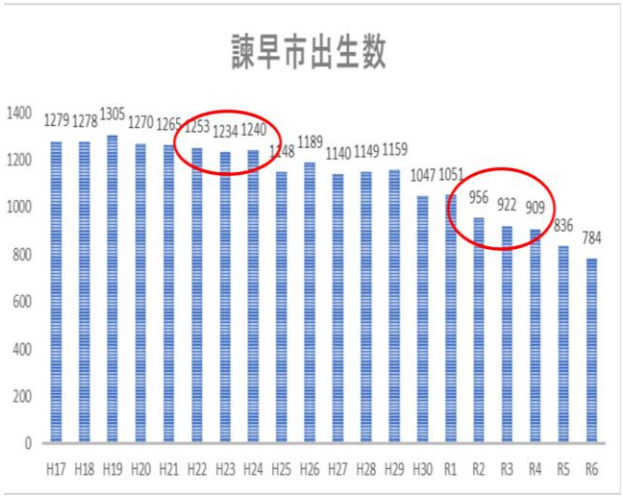
基本情報	
面積	総面積342㎢
人口	132,170人
公立中学校数	14校
公立中学校生徒数	3,398人
部活動数	127部
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

1　諫早市における少子化の問題

諫早市の出生数は○で囲ってあるところが現在の中学生の出生数となる。およそ1,250人ほどになっているが、10年後は1学年の数が330人減となる。諫早市の取組として大型商業施設や企業への誘致等の施策を進めることで人口減への歯止めをかけられると思うが、今も少子化の影響で、部員数が少なく、合同チーム等で大会に参加しており、更に厳しい状況になることが伺える。

【諫早市の出生数】



2　拠点校部活動の現状及び休日の部活動の地域展開について

少子化に伴って、一つの部に対する部員数は減少しており多くの学校で、自校だけでは運動部活動を成り立たせることは難しい状況である。

そのため、諫早市では、東西南北ブロック内若しくは近隣校と協力して、拠点校部活動を立ち上げ、持続可能な活動場所の確保に努めている。

また、令和7年度末を持って、休日において、全ての運動活動を地域クラブに移行するため、各運動部活動では、準備を進めている。

【令和7年度拠点校部活動の現状】

競技名	拠点校	在籍校
サッカー	森山中	飯盛中
柔道	喜々津中	琴海中
軟式野球	長田中	明峰中・小長井中
軟式野球	小野中	森山中・喜々津中
軟式野球	真城中	西諫早中
ソフトテニス男子	長田中	小長井中
バスケット女子	西諫早中	真城中
バレー女子	西諫早中	真城中
バレー男子	喜々津中	琴海中
バレー男子	諫早中	真城中

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		17クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		9クラブ
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		8クラブ
全体の指導者数	23人	全体の運営スタッフ数	保護者・指導者が運営しており、不明

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
十六夜会	保護者団体	剣道	・平日　0回 ・休日　1回	9:00～ 12:00	3年　2名 2年　2名 1年　1名	令和7年度～	1人	保護者・指導者が運営	500円/月額	中体連：部活動 その他：地域クラブ
Isahaya United Kings	保護者団体	バレーボール	・平日　1回 ・休日　2回	平日17:30～20:30 休日13:00～17:00	3年　3名 2年　8名 1年　2名	令和7年度～	1人	保護者・指導者が運営	3,000円/月額	中体連及びその他ともに地域クラブ
高来中学校ソフトテニス地域クラブ	保護者団体	ソフトテニス	・平日　0回 ・休日　1回	9:00～ 12:00	2年　3名 1年　5名	令和7年度～	1人	保護者・指導者が運営	会費無し（平日の部活動での会費）	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整･指導助言等の体制や運営団体･実施主体の整備
イ：指導者の質の保障･量の確保
ウ：関係団体･分野との連携強化
エ：面的･広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整･指導助言等の体制や運営団体･実施主体の整備

令和7年度諫早市運動部活動の地域移行検討委員会

構成委員

NO	役職
1	元長崎県高等学校体育連盟　会長
2	長崎県陸上競技協会副会長
3	医師
4	諫早市スポーツ協会副会長
5	諫早市ＰＴＡ連合会　会長
6	外部指導者代表
7	元長崎県中学校体育連盟副会長
8	中学校校長会　会長
9	諫早市中学校体育連盟会長

事務局

諫早市教育委員会　学校教育課　８名
スポーツ振興課　２名
諫早市中学校体育連盟　1名

・開催日
令和７年７月３１日（木）　第１回検討委員会
令和８年１月２６日（木）　第２回検討委員会

【設置目的】
諫早市立中学校における部活動の段階的な地域移行に向けて具体的な方策を検討するため、諫早市運動部活動の地域移行検討委員会を設置する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

令和7年度第1回諫早市運動部活動の地域移行検討委員会

1　運動部活動地域展開の進捗状況について
　（1）部活動の地域展開に関する、アンケート結果について
　（2）拠点校部活動、合同部活動の現状について
　（3）諫早市地域クラブ認定状況について

2「子どもが輝く未来フォーラム　in　諫早」ついて

3　諫早市部活動地域展開の課題について
　（1）指導者の確保
　（2）財政面の確保（活動費、指導者の謝金等）
　（3）拠点校部活動等の移動手段
　（4）諫早市スポーツコミッションとの連携

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整･指導助言等の体制や運営団体･実施主体の整備
イ：指導者の質の保障･量の確保
ウ：関係団体･分野との連携強化
エ：面的･広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整･指導助言等の体制や運営団体･実施主体の整備

令和7年度第2回諫早市運動部活動の地域移行検討委員会

１　今年度の取組について
（１）　アンケートの実施について
（２）　フォーラムの開催について
（３）　説明会等での周知について
（４）　ワーキンググループについて

２　諫早市認定地域クラブの進捗状況について

３　来年度にむけた取組について
（１）　ガイドラインの作成及び認定制度の再検討
（２）　指導者の確保のためのサポート事業
（３）　平日の拠点校部活動における移動手段の確保
（４）　財政的支援の在り方について
（５）　活動場所の確保について

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

諫早市部活動地域展開ワーキンググループ

学校教育課
総括組織として、各課関係事業を取りまとめ中学校部活動及び諫早市地域クラブを支援する

【施設利用関係】

スポーツ振興課
市体育施設の減免、スポーツ協会とのつながり、指導者の派遣等

教育総務課
地域クラブの学校施設（体育館・校舎）の利用について。鍵の管理。企業等からの基金の管理

地域振興課
ふれあい施設の利用について

中学校部活動
諫早市地域クラブ



【文化部の地域展開】

生涯学習課
公民館講座との連携。指導者の派遣等

文化振興課
地域文化クラブへ展開した際の担当課。指導者の派遣等

【企業との連携】

生活安全交通課
拠点校部活動の移動手段について

ふるさと納税推進室
企業版ふるさと納税の活用について。地域クラブへの財政的支援

※　部活動の地域展開において、各担当課に関係する事業について意見を収集し、事業を実施するための組織

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実



出典：子どもが輝く未来フォーラムin諫早ポスター

「子どもが輝く未来フォーラムin諫早」の開催

日時：令和7年8月18日（月）
会場：諫早文化会館
参加者：約400名
【内容】
○　部活動の地域展開の現状について
○　講　　演　森保一監督
○　パネルディスカッション
【パネリスト】
サッカー日本代表監督　　森保　一　　様
兵庫教育大学大学院教授　　森田　啓之　様
スポーツ庁地域スポーツ課長補佐
竹河　信裕　様
【ファシリテーター】
スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザー
大村市教育委員会　　参　事　体育スポーツ専門幹
久田　晴生　様

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

活動場所の確保について

学校部活動から地域クラブに展開して諫早市地域スポーツクラブとして認可されたチーム

これまで同様、使用できる

学校体育施設





既存の地域クラブや新設の地域クラブで諫早市地域スポーツクラブとして認可されたチーム

市施設予約システムを利用し減免対象として活用を検討

市の体育施設・ふれあい施設・公民館





担当課：スポーツ振興課・地域振興課・生涯学習課

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

・4月：諫早市認定地域クラブの申請の受付
・6月：アンケートの実施
・7月：第1回諫早市運動部活動の地域展開検討委員会開催
・8月：子供が輝く未来フォーラム開催
・12月：庁内にワーキンググループを発足
・1月：第2回諫早市運動部活動の地域展開検討委員会開催
・2月：熊本県視察、シンポジウムへの参加
・その他：随時、各学校で説明会の開催
（年間：20回以上）

認定地域クラブは、今年度から申請を受け付けており、3月末までに約120チームが申請予定である。6月のアンケートでは教職員、保護者、生徒、小学6年生を対象に行い、地域展開の問題点を整理した。運動部活動の地域展開検討委員会は2回実施し、今後の方向性について協議を行った。フォーラムの開催また説明会等を随時開催し、部活動改革に対する理解を図った。

●成果の評価

諫早市認定クラブチームは、現在18チームの登録である。本市では、休日の部活動を今年度末までに展開するため、最終的には120チームの認定地域クラブが発足する予定である。

6月にアンケート調査では、子供・保護者のニーズや教職員の兼職兼業への意思など現状把握することができた。また、アンケートを行うことへ、地域展開に対する周知が出来たものと考えられる。

運動部活動の地域展開検討委員会では、課題に対して多角的に意見を収集することができ、今後の事業に繋げることができた。

子どもが輝く未来フォーラムでは、サッカー日本代表の森保監督をお招きし、参加者約400名が出席した。地域展開に対する前向きな意見交換等ができ、有意義なフォーラムとなった。

説明会は、随時、開催し、部活動改革への疑問点などに対して、説明を行い、理解を深めていただく機会となった。

●今後に向けて

来年度は、今年度発足したワーキンググループを生かして、部活動の地域展開への課題に対して取り組んでいきたい。

また、認定クラブ制度を見直し、本市に合った、認定クラブの在り方を検討していきたい。

地域クラブを支える財政面の課題に対しては、民間企業との連携や企業版ふるさと納税等を活用し、令和9年度からの支援の在り方を検討したい。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

Q.地域クラブの活動に期待することは何か。
（中学1、2年生）

回答項目	回答割合（%）
（1）より専門的な指導を受けられる	36.0
（4）期待することは特にない	34.5
（3）好きなスポーツに取り組むことができる	32.4
（2）他校の生徒と活動する可能性が広がる	30.1

Q地域クラブの活動に期待することは何か。
（小学6年生）

回答項目	回答割合（%）
（2）みんなが仲良く、楽しく練習していること	65.7
（1）勝つことや記録を伸ばすことをめざしていること	48.3
（3）指導者がやさしく、ていねいに教えてくれること	43.2
（4）練習時間が短く、休日にも休みがあること	27.5

Q.地域クラブの活動に期待することは何か。
（中学生保護者）

回答項目	回答割合（%）
（4）礼儀、協調性、忍耐力などの人間的な成長	86.1
（3）仲間と楽しく活動すること	85.9
（2）体力や技術を向上させること	72.0
（1）大会やコンクールで良い成績をおさめること	24.1
（5）進学に有利になること	17.0

Q.地域クラブの活動に期待することは何か。
（小学生保護者）

回答項目	回答割合（%）
（3）仲間と楽しく活動すること	88.5
（4）礼儀、協調性、忍耐力など精神面をきたえること	80.7
（2）体力や技術を向上させること	59.9
（1）大会やコンクールで良い成績をおさめること	17.4

●参加者/関係者の声

参加者/中学1、2年生

仲間が増える、活動時間が増える、先生の負担が減る、質の高い練習ができる、指導者が変わる、団体戦に出場できる

参加者/小学6年生

指導者がやさしすぎない、みんなで助け合うクラブ、礼儀正しくメリハリがある、先輩と後輩の上下関係が緩い、暴力や暴言がない、勝負にこだわり過ぎない、きつい練習がない

参加者/中学生保護者

自己責任や自立心が育つ、指導者や保護者の負担が軽減される、移動にかかる無駄な時間の軽減、大会等で他校のライバルたちと仲良くなれること

参加者/小学生保護者

競技力を高める指導、丁寧な指導、休日の家族の時間の確保、安心できる居場所であること、保護者が大変なのでさせたくない、他校生徒との交流で視野を広げてほしい、指導者がいること

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



子どもが輝く未来フォーラム　in　いさはや



地域クラブ活動の様子



地域クラブ活動の様子



部活動地域展開第２回検討委員会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
諫早市部活動の地域移行在り方検討会開催	部活動地域展開への説明会（スポーツ協会）	部活動地域展開への説明会（地域・学校で開催）	部活動地域展開への説明会（地域・学校で開催）	諫早市認定地域クラブチーム登録開始	子どもが輝く未来フォーラムの開催

●ステークホルダー

諫早市部活動在り方検討会

●経過

部活動の地域展開に対する諫早市の現状と今後の方向性に検討した。また、令和6年度から、「諫早市運動部活動の地域移行検討委員会」として、より具体性の協議を行った。

●実施にあたって生じた課題

様々な意見を集約し、具現化することに難しい面もある。

●実施内容、工夫した点 等

多方面からの意見を収集するため、医師会、スポーツ協会、校長会、中体連、PTA、有識者等の代表者に委員となっていただいた。

それぞれの立場での地域展開を捉え、意見をいただくことで、より現実的な地域展開につなげることができた。

●ステークホルダー

各種説明会及びイベントの開催

●経過

部活動の地域展開を多くの方に理解いただくためには、周知活動を積極的に行うことが必要である。

●実施にあたって生じた課題

部活動に対しては、多くの方が多種多様な価値観を持っており、改革を進めるためには、丁寧に説明し、理解いただくことが重要であり、今後も継続していく必要がある。

●実施内容、工夫した点 等

スポーツ協会、各競技団体、各地域、各中学校等での説明会及びイベントを開催することで多くの方に周知することができた。根気強く足を使って説明を行っていくことが重要である。

●ステークホルダー

諫早市認定地域クラブ

●経過

部活動から地域展開した地域クラブを支えるため、また、教育的意義を逸脱した地域クラブにしないため、諫早市認定地域クラブの認定制度始めた。

●実施にあたって生じた課題

認定する基準を今後検討する必要がある。国が示した基準に照らし合わせ、再度検討する。

●実施内容、工夫した点 等

出来るだけ多くの地域クラブを登録するため、登録の条件を工夫した。また、登録のための手順及び申請書を諫早市HPに掲載し、スムーズに申請ができるように工夫した。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

諫早市運動部活動地域移行推進計画Ⅰの概要について

Ｒ５～Ｒ７〈推進期〉	Ｒ８～Ｒ１２〈発展期〉	Ｒ１３～〈充実期〉
休日の部活動の地域移行	平日の部活動の地域移行 ・地域スポーツ構築	地域のニーズに応じた スポーツの充実
【部活動】	【部活動→地域クラブ】	【地域クラブ】
・休日の運動部活動の指導を指導者・保護者へ移行。 ・東西南北ブロック及び近隣校との拠点校部活動の推進。 ・休日における各競技での合同練習会の推進。	・平日の運動部活動の指導を指導者・保護者へ移行。 ・運営主体（受け皿）への移行。 ・活動組織の地域クラブへの移行	★地域に根付いたスポーツ環境の整備及び充実を図っていく。 【運営主体】 ・道場等のクラブチーム ・民間スポーツクラブ・各競技団 ・保護者会・民間企業体等
【所管組織：行政】		
・チーム登録に係る整備 ・会場借用の規約作り ・教職員の兼職兼業の整備 ・指導者研修の整備、開催 ・コーディネーターの整備、配置 ・各競技団体の連携、整備 ・指導者バンクの整備 ・スポーツコミッションの準備・設置	・チーム登録に係る整備 ・会場借用の規約の運用 ・教職員の兼職兼業制度の確立 ・指導者研修の開催及び啓発 ・コーディネーターによる地域移行の充実 ・各競技団体の連携、整備 ・指導者バンクの運用 ・スポーツコミッションの確立	・チーム登録に係る業務の充実 ・活動場所の整備 ・指導者の派遣及び兼職兼業の充実 ・指導者研修会の充実 ・各競技団体の連携、整備 ・スポーツコミッションの充実